



Instagram



ホームページ

萩原珈琲の

2023年おさらいジャーナル

充実！珈琲教室

昨年は感染症対策も少しゆるやかになり、イベントや授業も頻繁に開催することが出来ました。

萩原珈琲は6年ほど神戸市の支援学校で授業をさせて頂いていますが、久しぶりに1年間みっちり授業することが出来ました。カフェスペース併設の学校で、実際に生徒たちが接客を頑張っているのがすごく嬉しいです。

また例年通りおやじラボを開催し、地域のコミュニティ作りにも協力させて頂いています！珈琲教室以外にも他府県からも修学旅行生の見学があったり、イベント盛りだくさんの1年になりました。

営業社員 D



ねっ、麻活しよ♪

麻活部。のロゴが出来ました！豆を運ぶという役目を終えた麻袋を「もうひと活躍」させる麻活部。2023年は、麻袋と廃棄焙煎豆を使った「小さな縁日（あそび）」を開催しました。誰でもかんたんに、楽しみながら麻袋を使えるような活動を考えています。

デザイン担当 U



おかんの出番ですよ！

「おやじブレンドはあるのにおかんブレンドはないの？」の一言から始まったワークショップ、おかんの珈論（こうろん）。お母様方に集まって頂き、色んなコーヒーを飲みながらブレンド作りをしました。朝から忙しく、たくましいおかんをイメージした苦味のおかんブレンドが完成。不思議なことに、ふんわり苦味抑えめのおやじブレンドとは対照的なコーヒーが出来ました！

営業社員 D



こんなポスター見つけたら…

「喫茶店に行こう」をテーマに3つのポスターを作成。撮影はお得意先さまにご協力いただきました。喫茶店は気を休めてひと息ついたり、いつもよりトーストが美味しく感じる、そんな場所。そんな喫茶店の特別感が伝わるシーンを写真に収めました。こんなポスター見つけたら、その店きっと、萩原珈琲。 **デザイン担当 U**



掘るもん（捨てるもの）プロジェクト

神戸市西区にある小池農園こめハウス様の畑をお借りして、自分たちで植えて育てたさつまいもを収穫しました。焙煎工程で出る廃棄豆を堆肥に混ぜ込み、その土で育てたさつまいもです。普段とは違う慣れない力仕事でしたが、つるを切って回収する係、マルチを剥がす係、芋を掘る係など持ち前のチームワークでなんとか完了。収穫したさつまいもの一部は社員たちが美味しく頂き、また残りのさつまいもは次なるプロジェクトの原料となりました。 **営業担当 T**



萩原珈琲のどこでもカフェ

昨年初出店したキッチンカーを参考に、テントカフェでの営業許可を神戸市で取得しました。直営店社員の意見を参考に、名前は【萩原珈琲のどこでもカフェ IKOU】です！コンパクト、よりお洒落になったテントカフェ。秋冬は大活躍しました。珈琲もハンドドリップも手作りですが、お店も手作りになりました。来年は山でも海でもどこでも行きます。 **営業担当 D**

自由に遊ぶが仕事につながる！？

萩原珈琲の賞与制度「自己目標評価制度」が始まりました。自分で目標を決め、自分でその達成度合いを判断し評価する。完全な自己申告制です。最終的に仕事にプラスになればどんな目標でも承認されます。嘘もつけるのでは？と思うかもしれませんが、そんな社員は見当たりません。信頼してくださっている会社や中間に嘘はつきたくないという気持ちが自然とそうさせているように感じます。

内容はさまざまで、1日30分歩く等の運動系、食事に気をつける等の健康系など人それぞれです。誰がどんな取り組みをしているのか、普段は見れない一面が垣間見れることも面白みのひとつです。自分の頑張りを自分で評価し、自信を持ってできたかと体感する。それはある意味、賞与以上に大事なこともかもしれません。

営業担当 T

